

あなたと議会

◆題字書写リレー!!◆ 今号は大貫毅議員が揮ごうしました

トピック

常任委員会の調査結果を
報告しました!



2020
211号
11月25日発行

市政を問う
9月定例会の結果



みんなのもとへ アートを届けます! ~学校巡回展~





一般質問の
動画はこちら



鈴木 毅 議員

道路法について伺う

質問

市道上に第三者の構造物等が置かれた場合の行政の対応を伺う。実例だが、市道上にブロックが置かれた場合の市の回答は「境界が決まっていないので指導できない」だった。道路法や国家賠償法などの判例を基準に厳正な対処を求む。

答 弁（都市建設部長）

道路境界が明確になっている場合は、所有者等に対し、口頭や文書等で指導をしています。

道路境界が明確になっている箇所、

各議員の記事の「質問」の文章は、議員本人が作成しました。



市道に雑草や工作物が越境し通行に支障がある場合は、土地や工作物などの現況を調査し、所有者、管理者に対し、口頭や文書等により、除草や移設等を指導しています。境界協定がなされていない場合であって、通行に支障がある場合には、関係者と相談して対応することになります。市は道路管理者として、道路を良好な状態に保ち、交通に支障を及ぼさないよう努める責務があり、道路の管理に瑕疵があったため事故が起きた場合は、市が賠償する責任が生じる場合があります。危険性が確認できる場合は法に基づき適正に処理しています。



◆その他の質問事項

- 農業委員会等に関する法律について
- 棚田地域振興法について
- 行政手続きについて
- 自治会について



一般質問の動画はこちら



市民の健康増進について伺う

質問

市は健康増進の為にふれあいウォーキングを実施しているが、市外からも集客できるような健康ウォーキングを企画してはどうか。また医療費削減にもつながるウォーキングを推奨し、さらに鹿沼市をイメージづけてはどうかを伺う。

答 弁 (教育次長)

ウォーキングを始めるきっかけづくりとなる事業を毎年複数回開催しています。

ウォーキングは、年齢、性別を問わず取り組みやすく、イベントへの参加もしやすいことから、人気が高くなっており、



一般質問の動画はこちら



地方公共団体のデジタル化について伺う

質問

行政手続のデジタル化推進について、鹿沼市においても、行政のデジタル化のためITの推進を行ってきていますが、今年の4月から、「情報管理課」が「情報政策課」へと名称が変わった意義と目的について伺います。

答 弁 (総務部長)

情報政策における企画立案機能の強化及びオープンデータの活用推進を図ることが目的です。

名称変更の意義及び目的について、その意義については、情報技術を本市内部

の事務処理のみならず、AIやRPAの活用による業務構造の改革、地域課題の解決など、より広い分野における施策に積極的に活用していくという本市の意思を明確にした点にあると考えています。また、目的については、情報政策における企画立案機能の強化及びオープンデータの活用推進を図ることです。あわせて、政策全般に統計情報を活用するため、統計業務を所管する統計係の統合も実施しました。庁内での業務のシステム化については、所管課と連携を取りながら、情報政策課が主導的な立場、リーダーシップをとって、進めていければと考えています。

本市でも、ウォーキングを始めるきっかけづくりとなる事業を毎年複数回開催しています。特に、昨年11月に開催した鹿沼ふれあいウォークでは、名所や園芸フェアの見学、梨の試食やお楽しみ抽選会、出前健康相談を行うなど、「いちご市鹿沼」の恵まれた自然と豊かな文化を肌で感じられるコースとなっており、市内外から多くの方々にご参加いただきました。2022年に開催される「いちご一会とちぎ国体」において、健康維持や体力向上の効果が期待できるウォーキングを、市のデモンストラションスポーツとして開催し、国体開催の機運を醸成していきたいと考えています。



◆その他の質問事項

- 図書館のデジタル化について
- 市営住宅の連帯保証人について
- 新型コロナウイルス対策について
- 防災対応力の強化について



◆その他の質問事項

- 子どもの居場所事業について
- 公共施設について

花木センターについて伺う

質問

花木センターの中にある、ベリーズカフェや万葉苑は、立地の問題もあり、人の入りが少ないように感じる。人を呼び込む工夫が必要と考えるが、ベリーズカフェ及び万葉苑について、また、人を呼び込むための取り組みを伺う。

答 弁 (経済部長)

今後、フラワーズゾーンの整備、万葉苑及び「鹿樹庵」の活用に取り組みます。

ベリーズカフェは、フラワーズゾーンの季節ごとに咲く花々を眺めながら、飲食できるスペースとして、平成29年4月に

オープンしました。4月・5月は、集客力が高く順調ですが、それ以外の期間は、花が咲いていない時期であることや、入り口から距離があることなどから、利用が伸びていません。これらを踏まえ、今年8月に、花木センター施設内の中心にある「八角堂」へカフェの機能を移したところです。今後は、花の咲く集客力の高い時期に期間限定でオープンしていく予定です。万葉苑は、茶室「鹿樹庵」を備えた庭園で、サツキ文化の伝承とサツキの品種保存のための施設として管理されています。今後、フラワーズゾーンの整備とあわせ、万葉苑及び「鹿樹庵」の活用に取り組んでいきたいと思っております。

◆その他の質問事項

○空き家対策について

○市から自治会への依頼について

○「地域の夢実現事業」について

○新型コロナウイルス感染症対策について



八角堂のカフェスペース

鹿沼市に於ける道路整備について伺う

質問

市道0020号線及び国道293号榆木バイパス・市道0363号線の接続時期について伺う。また、国道293号榆木バイパスの未着工部分の今後の予定について伺う。

答 弁 (都市建設部長)

関係機関と連携を図りながら、事業を推進していきます。

市道0020号線は、鹿沼環状線の交差点で榆木バイパスと接続し、榆木バイパスは下奈良部町地内で市道0363号線と接続することから、現在、市道0363号線の榆木バイパス接続部分の

整備を実施しています。市道0363号線は主要地方道宇都宮・榆木線に接続しているため、開通後には、南大通りから鹿沼環状線と市道0003号線を経由し、宇都宮・榆木線を結ぶ黒川左岸の南北軸が形成されることから、今年度末に供用開始できるよう、鹿沼土木事務所と連携を図りながら事業を推進しています。国道293号榆木バイパスの未着工区間については現在、県において、事業計画に関するパブリックコメントを実施中であり、今年度中には関係者への事業説明会も行う予定と聞いています。

◆その他の質問事項

○公共交通について



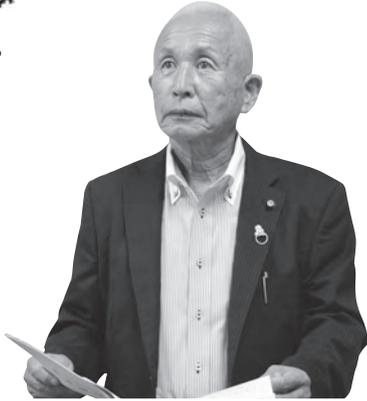
今後の道路整備の予定図



一般質問の動画はこちら

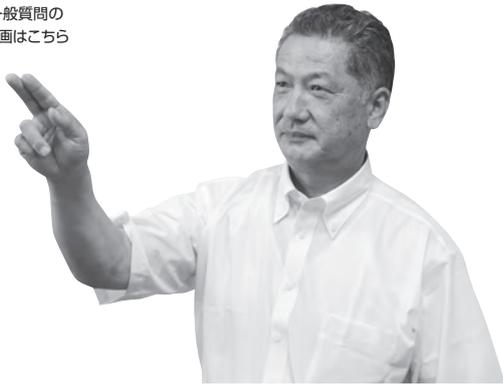


一般質問の動画はこちら





一般質問の
動画はこちら



安全で安心な地域づくりについて伺う

質問

川遊びの増加に伴うゴミや汚物、不法投棄の問題と路上駐車対策について伺います。河川の利用規制や騒音防止の条例を制定している運用自治体の状況と課題、河川パトロールの実施について伺います。

答 弁 (市長)

地元住民等のボランティアによる収集と市の回収などの対応を行っています。

川遊びの増加に伴う不法投棄について、特に川遊びが増加している大芦川は不法投棄問題については、管轄する鹿沼

土木事務所による警告看板設置や、地元住民等のボランティアによる収集と市の回収などの対応を行っています。また、きれいなまちづくり支部活動として実施されている河川パトロール及びクリーン事業にも支援を行っています。路上駐車対策は、警察による取締りの強化、「大芦川安全対策会議」による天王橋周辺での駐車禁止看板の設置などを行っています。河川のパークビュー等を全面禁止している自治体では、違反行為がほぼなくなつたと聞いていますが、騒音防止については、法的に個人に対する騒音基準が定められていないため、条例制定は困難と考えています。

◆その他の質問事項

○野生鳥獣兼有害生物対策について
○林業行政について



一般質問の
動画はこちら



新型コロナウイルス感染症対策事業について伺う

質問

子育て世代への支援策として、特別定額給付金の対象外となった新生児へ鹿沼市独自の特別臨時給付金10万円の支給、及び企業・個人事業者への支援として、金融支援や資金繰りなど鹿沼市独自の経済支援について執行部の考えを問う。

答 弁 (市長)

特別定額給付金の対象外となった新生児を持つ世帯への給付を検討します。

本市はこれまで、国の子育て世代への臨時特別給付金の給付事務、また、市独

自支援策としてひとり親世帯等応援給付金をはじめ学童保育クラブ利用料の返還などの事業を実施してきました。特別定額給付金の対象外となった新生児を持つ世帯への支援については、今後実施する方向で、支給要件や支給方法等の具体的な内容を整理していきます。企業・個人事業者への今後の支援策については、市独自の支援策として事業継続応援金を創設するなど、積極的に経済支援を行っています。国においても支援を用意しているため、個々のニーズに合った支援制度を紹介し、活用を促していきます。

◆その他の質問事項

○新庁舎整備について
○大芦川流域の有効活用について



ドライブレコーダーの推進について伺う

質問

ドライブレコーダーを動く防犯カメラなど多目的に活用することについて市を考えを伺う。また、地域の見守り体制を強化する取り組みとして、市民へのドライブレコーダーの推進及び補助金制度の導入について伺う。

答 弁 (財務部長・市民部長)

犯罪抑止や危険事態の防止など活用の範囲は広いと考えています。

ドライブレコーダーの普及に伴い、交通事故や危険運転などの犯罪が発生した際、録画映像が真相解明に役立つケース

が増えています。市としてもドライブレコーダーを防犯カメラととらえ映像の提供を初め録画していることのPRにより、犯罪抑止や危険事態の防止など活用の範囲は広いと考えています。本年6月30日からあおり運転の厳罰化が施行され、ドライブレコーダーの需要も高まっています。ドライブレコーダーの支援として国土交通省では業務用車両に対して購入額の一部を補助する制度を実施しており、また、市民向けにドライブレコーダー購入の補助を行っている自治体もあります。補助金制度の導入については実地自治体等の状況を見極めていきたいと考えています。

◆その他の質問事項

- スポーツでつくる健康都市の推進について
○市民サービスの向上について
○花木センター(道の駅)等の物産ドライブスルー化について
○街路樹の維持管理について



鹿沼市の農林業について伺う

質問

家族で経営する農林業の支援と振興は重要課題。日米貿易協定やTPP11など貿易による影響について市の考えを伺う。大田市場に出荷される鹿沼の高品質のいちごを市民が食べられる仕組みを作るべきではないか。

答 弁 (経済部長)

地産地消は重要なことと考えるので、関係方面に要望していきます。

全国の食糧自給率は2019年で38%、本県では2018年で73%です。今後、貿易協定により海外の農産物が輸

入しやすくなることで、国内の食料自給率の低下につながる懸念があります。今後はJA、県など関係機関と連携を図りながら、国産品の安心安全をより一層PRし、影響を最小限に抑える取り組みを進める必要があると考えています。鹿沼の高品質のいちごを市民が食べられる仕組みづくりについては、鹿沼産のいちごはJAによる首都圏市場などへの出荷割合が約99%を占めており、市内でより多く流通するには、出荷される中から地元向けに振り分けてもらうことが必要となります。地産地消は重要なことと考えますので、関係方面に要望していきます。

◆その他の質問事項

- 議案第94号鹿沼市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
○鹿沼市高齢者総合福祉計画について
○平和行政について



一般質問の動画はこちら



一般質問の動画はこちら





一般質問の動画はこちら

大貫 毅 議員



鹿沼市総合戦略の達成状況について伺う

質問

市総合戦略の達成状況について、とりわけ移住件数、婚姻率、合計特殊出生率について、その結果と分析について伺います。安心して子どもを産み育てられる環境の整備と移住者を呼び込む政策をどう充実させていくのか伺います。

答 弁 (総務部長)

さらに子ども達が安心して生活できる環境整備に取り組みます。

移住件数は、令和元年度までの目標が累計10人のところ、実績は100人でした。企業の移転時に集中して移住相談を行ったことが要因と考えます。婚姻率は、人

口千人当たりの婚姻件数5.1件が目標のところ、実績は3.5件でした。これは、多様なライフスタイルや先行き不透明な経済情勢によるものと推察します。合計特殊出生率は、目標1.43のところ、実績は1.31でした。これは、全国的に晩婚化が進んでいる事が一つの理由と考えます。子育て環境の整備と移住者を呼び込む政策について、子育て環境の整備は人口減少対策としても重要であり、今後さらに子ども達が安心して生活できる環境整備に取り組みます。また、都心から地方への移住ニーズは高まっていると思われまます。オンラインの移住相談にも対応しており、今後、市HPにおけるシティブロモーション等の強化に取り組みます。

◆その他の質問事項

- 外遊びの推進について
- 大芦川流域の環境保全と地域資源の活用について
- 就職氷河期世代対象の職員募集について



一般質問の動画はこちら

石川さやか 議員



災害対応力の強化について伺う

質問

民間施設を活用した避難所や、民間企業との協定の状況と、指定避難所以外の避難先への支援物資の配布、情報伝達について伺う。災害情報伝達システムについて、災害情報アプリの登録推進や、戸別受信機の詳細について伺う。

答 弁 (危機管理監)

災害情報伝達システムの活用と、SNSやケーブルTVなどで情報を発信いたします。

民間施設を活用した避難所や民間企業との協定の状況は、ホテルや旅館等の利用について、県が市や町に対する支援と

して締結した協定のほか、本市では、自由に場所が移動できるコンテナホテルを運営する株式会社デベロッパと防災協定を締結し、また、市内11か所の福祉施設と協定を締結しています。指定避難所以外への支援物資の配布や情報伝達については、災害情報伝達システムを活用するとともに、SNSやケーブルTVなどで支援物資の配布情報を発信します。災害情報アプリの登録推進については、チラシを用いてPRするほか、ダウンロード操作の対面や電話でのサポートを強化します。戸別受信機は、受信したことを発信者が確認でき、受信メッセージは何度でも聞くことが出来るため、聞き漏らすことがありません。

◆その他の質問事項

- 新型コロナウイルス感染症対策について



道路整備について伺う



一般質問の動画はこちら



質問

道路整備について、県道大師ヶ窪付近の道路整備がありますが、地元はもちろん、旧栗野町住民も早期の完成を望んでいます。通勤通学をはじめ市民の主要生活道路でありますので、県道ではありませんが完成時期を示してください。

答 弁 (都市建設部長) 本年10月下旬に完成、開通すると聞いています。

県道鹿沼足尾線は、本市中心部と栗野地域を結ぶ主要な幹線道路であり、円滑な交通や自転車歩行者の安全確保を図る

ため、県鹿沼土木事務所において事業を実施しています。本路線の事業区間は塩山町地内の一級河川小敷川の西側から栗野地域に向かいます。延長約850メートルであり、道路幅員は14メートルで整備を実施しています。本市では、これまでに

国や県に対し同路線の早期完成に向けた整備推進の要望を行ってきました。県ではホームページ等で、主要な事業の開通時期や事業効果などの情報を公表しており、本路線については本年秋ごろの完成とされてきました。具体的な完成時期について県鹿沼土木事務所に確認したところ、本年10月下旬に完成、開通すると聞いています。

◆その他の質問事項

○農業の振興について

○鹿沼市総合戦略について



一般質問の動画はこちら



新産業団地整備の促進について伺う

質問

新しい産業団地を早期に整備することが、市の経済発展、雇用の確保、さらに定住人口増加のためにも必要です。市内の工場等誘致の状況、また、新しい産業団地の整備に向けた進捗状況と今後のスケジュールについて伺います。

答 弁 (市長) 令和4年度分譲開始を目指し、事業を推進していきます。

過去3年間の企業からの引き合いの状況は、平成29年度が24件、平成30年度が19件、令和元年度が16件でした。企業誘

致件数については、平成29年度が1社、平成30年度が2社、令和元年度が2社です。平成30年10月には宇都宮西中核工業団地が完売となり、大規模用地への立地ニーズに対応できる工業用地が不足している状況にあります。新産業団地整備の進捗状況と今後については、県では現在、事業決定に向けた基礎調査を実施しているところと見られます。事業実施決定後、県による市街化区域編入を令和3年3月に予定しています。用地買収や造成工事等のスケジュールについては、今後、県企業局との協議により決定します。本市としては令和4年度分譲開始を目指し、スピーディーに事業を推進していきます。

◆その他の質問事項

○移住希望者の支援体制の強化について

○新型コロナウイルスに対応した行事等の実施判断について



新産業団地の予定地 (写真左上が鹿沼工業団地)



一般質問の
動画はこちら

佐藤 誠 議員



図書館について伺う

質問

図書館の既成概念を超える大胆かつ洗練された新設や改修・カフェ併設などまちの賑わい創出に寄与している事例がある。「図書館本館くつろぎスペースの整備」を題材として鹿沼市のこれからの文化と教育の発展の可能性を問う。

答 弁 (教育次長)

リラックスして図書に親しむことのできるカフェ風のスペースを整備します。

図書館本館エントランスホール北側の約32㎡のエリアに、木目調の床材を貼り

付け、高めのカウンターテーブルを配置する予定です。すでに設置しているカッポ式自動販売機で購入した飲み物を飲みながら、リラックスして図書に親しむことのできる、カフェ風をイメージしていきます。鹿沼市の文化と教育の発展の可能性について、図書館においては、子ども達はもとより、すべての市民が生涯を通して、生きがいを持ちながら豊かな人生を送れるよう、また、学習機会の充実や活動促進に寄与できるよう、役割を果たしていきたいと考えています。



◆その他の質問事項

○新聞について

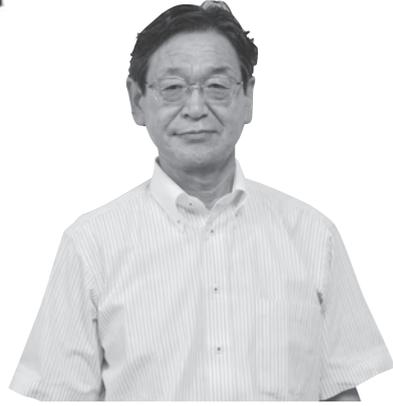
○ラウンドアバウト等の道路行政について

○次期総合計画について

鰐原 一男 議員



一般質問の
動画はこちら



全ての施策は人口減少対策について伺う

質問

令和元年度鹿沼市一般会計補正予算(第4号) 457億1千128万9千円の内、庁舎等維持管理費委託料76万8千円を削除し予算総額457億1千52万1千円を提言した。補正予算総額の内災害復旧事業費35億8千775万5千円に反対した議員はいない。市長の見解を伺う。

答 弁 (市長)

その内容について私の方でお答えできる立場ではございません。

当該補正予算案につきましては、令和

元年第6回の12月定例会において、十分な審議を頂き、原案通り可決されたものです。質問の中で示された金額については、事務手続きのルールに沿って、修正を加える理由や修正内容について議論された後、議会から提出された補正予算の修正案ではなく、議会最終日において、議案に対する全ての審議が終了し、採決に向けて賛成、反対の意思を議員間で表明しあう討論の段階で、鰐原議員の個人のお考えとして一方的に述べられたものであり、その内容について私の方でお答えできる立場ではございません。



令和元年東日本台風の爪跡

認定9件、市長提出議案20件及び議員案4件が提出されました。
議員数23名、表決参加議員数22名※（※議長は表決には加わりません。）

令和2年第5回定例会 議員の賛否を公表

賛否の分かれた議案【可決】

認定2 令和元年度鹿沼市一般会計歳入歳出決算の認定について

令和元年度一般会計予算は、当初以来7次にわたる補正を行った結果、予算総額は475億3,434万4,360円、決算額は、歳入424億6,469万9,127円、歳出399億8,020万2,898円、歳入歳出差引額24億8,449万6,229円であり、実質収支において10億5,581万6,471円の黒字決算となりました。なお、歳入歳出差引額と実質収支の差額は、継続費及び繰越明許費による翌年度へ繰り越すべき財源14億2,867万9,758円です。

賛成

【経世会】鈴木紹平・大貫桂一・石川さやか・館野裕昭・小島 実
【政新クラブ】藤田義昭・加藤美智子・佐藤 誠・大島久幸
【公明党】梶原 隆・鈴木敏雄
【親悠会】市田 登・谷中恵子・横尾武男・関口正一
【立憲民主党】大貫 毅
【自由民主党】宇賀神敏・津久井健吉
【日本共産党】阿部秀実

不参加

【希望】橋本 修・鈴木 毅・鰐原一男



認定3 令和元年度鹿沼市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

この特別会計は、実質収支において黒字決算となりました。

※討論が行われました。

賛成

【経世会】鈴木紹平・大貫桂一・石川さやか・館野裕昭・小島 実
【政新クラブ】藤田義昭・加藤美智子・佐藤 誠・大島久幸
【公明党】梶原 隆・鈴木敏雄
【親悠会】市田 登・谷中恵子・横尾武男・関口正一
【立憲民主党】大貫 毅
【自由民主党】宇賀神敏・津久井健吉
【希望】橋本 修・鈴木 毅・鰐原一男

反対

【日本共産党】阿部秀実



認定

討論

反対討論 阿部秀実 議員

滞納による延滞金収入は決算で2,161万8,076円になった。加入者が通常通り納付されていなければ発生していない収入。収めることが困難な加入者が滞納を続けた場合、市は保険証を取り上げ、代わりに短期保険証、資格証明書を発行している。そうした加入者が医療機関の受診を躊躇してはならない。また、そのようなケースで重症化するなどの場合、結果として医療給付費の増大にもなりかねない。正規の保険証を加入者全員が使い、健全な国保運営と延滞徴収を抑制するよう努めてもらうことと、さらなる国保の負担軽減を求め、決算の認定に反対する。

賛成討論 討論者なし

全議員が賛成した議案【可決】

議案96 鹿沼市固定資産評価審査委員会委員の選任について

議案97 人権擁護委員候補者の推薦について

議案98 鹿沼市教育委員会教育長の任命について

議案99、100 鹿沼市教育委員会委員の任命について

（議案96～100については、12ページをご覧ください。）

人事

議員案

議員案3 決算特別委員会の設置について

令和元年度鹿沼市一般会計及び特別会計の決算を審査するため、特別委員会を設置するものです。



全議員が賛成した議案【可決】

令和元年度決算

- 認定4 令和元年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定5 令和元年度鹿沼市公設地方卸売市場事業費特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定6 令和元年度鹿沼市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定7 令和元年度鹿沼市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定8 令和元年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定9 令和元年度鹿沼市粕尾財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定10 令和元年度鹿沼市清洲財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定4～10については、各特別会計とも実質収支において黒字決算となりました。

令和2年度補正予算

- 議案83 令和2年度鹿沼市一般会計補正予算（第5号）について
- 歳入については、国県支出金、繰越金等の増減額を計上し、歳出については、水源地域振興拠点施設整備事業費、道路整備事業費、道路橋りょう災害復旧事業費等の増減額を計上したもので、この補正額を19億1,846万1千円の増とし、予算総額を561億823万8千円とするものです。
- 議案84 令和2年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
- 歳入については、繰入金、繰越金等の増額を計上し、歳出については、国民健康保険事務費及び予備費の増額を計上したもので、この補正額を1億7,952万8千円の増とし、予算総額を104億1,142万8千円とするものです。
- 議案85 令和2年度鹿沼市公設地方卸売市場事業費特別会計補正予算（第1号）について
- 歳入については、繰越金の増額を計上し、歳出については、公設地方卸売市場施設維持管理費及び予備費の増額を計上したもので、この補正額を124万2千円の増とし、予算総額を1,434万2千円とするものです。
- 議案86 令和2年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算（第1号）について
- 歳入については、国県支出金、繰越金等の増減額を計上し、歳出については、介護給付費準備基金積立金及び償還金の増額を計上したもので、この補正額を1億5,238万4千円の増とし、予算総額を87億38万4千円とするものです。
- 議案87 令和2年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について
- 歳入については、繰越金の増額を計上し、歳出については、これを予備費に計上したもので、この補正額を1,409万1千円の増とし、予算総額を11億4,449万1千円とするものです。

令和2年度補正予算

- 議案88 令和2年度鹿沼市粕尾財産区特別会計補正予算（第1号）について
- 歳入については、繰入金及び繰越金の増減額を計上し、歳出については、これを財政調整基金積立金に計上したもので、この補正額を12万9千円の増とし、予算総額を531万9千円とするものです。
- 議案89 令和2年度鹿沼市清洲財産区特別会計補正予算（第1号）について
- 歳入予算の更正として、繰越金の増額を計上し、繰入金の減額を計上するものです。

条例の一部改正

- 議案90 鹿沼市公告式条例の一部改正について
- 情報・通信技術の進展による情報伝達手段の多様化に伴い、条例の掲示場を削減することにより、行政改革の推進に寄与するためのものです。
- 議案91 鹿沼市行政不服審査会条例の一部改正について
- 事実ごとに委嘱を予定していた行政不服審査会委員を、常設の委員とすることにより、市民から審査請求が提出された場合に、迅速な行政不服審査会への諮問を可能にするとともに、裁決までに要する期間の短縮を図り、もって市民サービスの向上に寄与するためのものです。
- 議案92 鹿沼市税条例の一部改正について
- 地方税法等の一部改正に伴い、新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための措置が納税者に及ぼす影響を緩和するため、固定資産税等の特例措置を講ずるほか、ひとり親に対する市民税の所得控除の見直し等を行うためのものです。
- 議案93 鹿沼市都市計画税条例の一部改正について
- 地方税法の一部改正に伴い、新型コロナウイルス感染症等の影響を受けた中小事業者等に係る課税標準の特例措置を講ずるためのものです。
- 議案94 鹿沼市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に準じ、放課後児童支援員の資格要件に新たに指定都市又は中核市の長が行う研修を修了した者を加えるためのものです。
- 議案95 鹿沼市国民健康保険税条例の一部改正について
- 租税特別措置法の一部改正に伴い、有効に活用されていない低額の土地及び建物の譲渡所得に係る国民健康保険税の課税の特例措置を講ずるためのものです。



全議員が賛成した議案【可決】

物品購入契約

議案101 物品購入契約の締結について

本市の施設における新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を目的として、体温計測用のサーマルカメラ(固定型)一式購入に係る指名競争入札を去る8月25日に行い、その結果、北関東総合警備保障株式会社が683万1千円で落札したので、本契約を締結するためのものです

議案102 物品購入契約の締結について

小中学校に導入するタブレット端末等情報機器一式購入に係る指名競争入札を去る9月3日に行い、その結果、株式会社シブエが4億9,830万円で落札したので、本契約を締結するためのものです。

議員案

議員案4 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について
(15ページをご覧ください。)

議員案5 各常任委員会への特定調査事件付託について

議員案6 議会運営委員会への調査事件付託について
(議員案5、6については、13ページをご覧ください。)



令和2年第5回 9月定例会の結果

人事

人事案件が議決されました。(議案第96～100号)

鹿沼市固定資産評価審査委員会委員

おおつか じろう
大塚 次郎 (緑町)

▶用語解説「固定資産評価審査委員会委員」

固定資産を適正に評価し、市町村長が行う価格の決定を補助するための委員。固定資産の評価に関する知識及び経験を有する者のうちから議会の同意を得て市町村長が選任する。

人権擁護委員 (候補者)

ふくだ れいこ
福田 玲子 (板荷)

▶用語解説「人権擁護委員」

人権擁護委員法に基づいて、各市町村に設置される非常勤職で、法務大臣が委嘱する民間のボランティア。日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していく活動をしている。議会の意見を聞いて、市長が法務大臣に対し候補者を推薦する。任期は3年。

鹿沼市教育委員会教育長

なかむら ひとし
中村 仁 (栄町)



鹿沼市教育委員会委員

すずき いずみ
鈴木 泉 (坂田山)
くらまつ としひろ
倉松 俊弘 (石橋町)

▶用語解説「教育委員会」

教育においては政治的中立性と安定性の確保が強く要求されるため、地方公共団体の長から独立した行政機関として教育委員会が設置され、教育についての方針や施策は教育委員会の合議で決定される。教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。委員は、人格が高潔で教育・学術及び文化に関し識見を有する者のうちから議会の同意を得て市長が任命する。

新委員の紹介

9月28日議会最終日に議会運営委員会及び各常任委員会委員の改選を行いました。

総務常任委員会



委員長
佐藤 誠



副委員長
阿部 秀実

委員
大貫 桂一
増渕 靖弘
横尾 武男
鰐原 一男

環境経済常任委員会



委員長
小島 実



副委員長
鈴木 毅

委員
藤田 義昭
宇賀神 敏
大貫 毅
関口 正一

文教民生常任委員会



委員長
石川 さやか



副委員長
鰐原 一男

委員
加藤美智子
館野 裕昭
鈴木 敏雄
谷中 恵子

建設水道常任委員会



委員長
市田 登



副委員長
大島 久幸

委員
鈴木 紹平
橋本 修
梶原 隆
津久井健吉

議会運営委員会



委員長
横尾 武男



副委員長
鈴木 毅

委員
梶原 隆
石川 さやか
館野 裕昭
津久井健吉
鰐原 一男
宇賀神 敏
佐藤 誠
谷中 恵子
小島 実
大島 久幸

閉会中の継続調査を行います。

4つの常任委員会に、それぞれ特定調査事件を付託しました。
各委員会は、委員の任期中において議会閉会中も継続して調査を行います。

総務常任委員会	○非常時の行政運営について
環境経済常任委員会	○首都圏在住者に対する本市第一次産業への就業支援について
文教民生常任委員会	○健康マイレージ等、市民の健康増進について ○コミュニティスクールの推進について
建設水道常任委員会	○災害に強いまちづくりについて

常任委員会の調査結果を報告しました

4つの常任委員会がそれぞれ独自に調査テーマを掲げ、先進自治体等への現地調査、関係機関や市執行部等からの意見聴取、討議研究を重ねてきました。このたび調査結果がまとまったことから、9月28日の本会議において各委員長から議長へ報告するとともに、提言として市執行部へ提出しました。

■総務常任委員会 テーマ「市民の命を守る防災・減災対策について」

提言1 多様な手段ですべての人に災害情報を伝えること。

「テレビのデータ放送」や「新たな災害情報システム」の普及啓発、災害時避難行動要支援者などへ「戸別受信機」の配布拡大、「災害情報テレフォンスーサービス」や「ケーブルテレビ」での情報発信の充実、など。

提言2 命を守るための早期避難を実現させること。

避難の目安である「5段階レベル」の周知、災害時に自分はどう行動するか「マイタイムライン」の作成、「民間施設も含めた一時避難所の拡大」、災害時避難行動要支援者の避難支援のため「民生委員や自主防災会との連携強化」、災害が予想される場合に「コミュニティセンター職員を増員」し自治会や自主防災会への活動支援、新型コロナウイルス感染防止に対応した「避難所数や面積の確保」、など。

提言3 災害に対する平常時からの活動を充実させること。

「自主防災会の組織化と避難訓練」の実施、「防災士の養成と地域防災リーダーづくり」、「危機管理課の体制強化」、避難指示などの情報発信等に混乱が生じないよう「職員の役割分担の明確化」、「災害後の防災体制の検証」、など。



■環境経済常任委員会 テーマ「木のまち鹿沼のイメージ戦略について」

提言1 鹿沼産認証材の利用促進と住宅建設の際の補助金を大幅に増やし鹿沼産材を使うことで住宅建設における費用差額の補填をすること。

提言2 森林環境譲与税をさらに利活用することにより、木の持つイメージをアップさせ、大いに利用すべき点を洗い出し、関係部局からアドバイスを行うこと。

提言3 木の持つあたたかなイメージを最大限に生かした建物が北小学校であるなら、鹿沼をロケ地にと各方面に発信し、積極的に外部映画製作関係者を受け入れ、木のまち鹿沼のイメージを拡散することで、本市のイメージアップを積極的に図ること。

■文教民生常任委員会 テーマ「ICTを活用したワンストップ窓口について」

提言1 マイナンバーカードでの受付、市民がタブレットを使用して申請情報の入力、住民異動届などにおいてネット事前申請を可能とするなど、「利用しやすい、書かせない窓口」の整備をすること。

提言2 窓口巡回表にバーコードを印刷し、各担当課の受付窓口でバーコードを読み取ることで継続的に対応、受付補助員を配置し申請のお手伝いをするなど、「分かりやすく、迷わせない窓口」の整備をすること。

提言3 届出データの登録作業を自動化、聴覚・言語障がい者や外国人に対しては、筆談・音声認識・AI翻訳ができる専用タブレットを使用するなど、「スピード感のある、親切で待たせない窓口」の整備をすること。

提言4 順番待ち番号案内モニターに企業広告を掲示し、広告収入を維持管理費用に充てること。

提言5 全児童・生徒へのタブレット配布やGIGAスクール構想に基づく校内ネットワーク環境の整備、児童生徒一人一人へ個別最適化された学びの実現、保育園・幼稚園のICT化など、新しい時代に生きる子供たちの将来を見据えて、教育におけるICT環境の充実を図ること。

提言6 公共施設Wi-Fi環境の充実強化を図ること。



■建設水道常任委員会 テーマ「まちづくりについて」

提言1 今後もリノベーションまちづくりに積極的に取り組む態勢を人員と予算の拡充を主として構築して行くこと。

提言2 公民を問わない他市の取り組み事例などの情報収集をすること。

提言3 社会実験の実施促進をすること。

提言4 検証可能なデータに基づく経営感覚をもった職員の育成と民間プレイヤーの発掘と連携をすること。

意見書を提出しました。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）および内閣府特命担当大臣（地方創生）宛てに意見書を提出しました。（議員案第4号）

■議員案第4号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
- 5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上

議会カレンダー

2月		3月		令和3年第1回定例会予定			
月	火	水	木	金	土	日	
2/15	16	17	18	19	20	21	
		議会運営委員会					
22	23	24	25	26	27	28	
		本会議(第1日) 提出議案の説明					
3/1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
		議会運営委員会 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	本会議(第4日) 議案質疑・一般質問			
15	16	17	18	19	20	21	
	総務常任委員会 環境経済常任委員会	文教民生常任委員会 建設水道常任委員会		議会運営委員会 本会議(第5日) 採決			
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31	4/1	2	3	4	

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページをご覧ください。また、または議会事務局までお問い合わせください。（電話63-2203）

動画を配信しています

本会議の様子は、鹿沼ケーブルテレビで生中継及び録画放送をしているほか、YouTube（ユーチューブ）で動画配信（下記QRコード）もしていますので、ぜひご覧になってください。



鹿沼市ホームページ
（議会の動画配信）

表紙の写真は

コロナウイルス感染防止のため制限されている校外学習の支援と、美術鑑賞機会の提供を目的に、川上澄夫美術館収蔵作品を活用し小学校で出張展示会を行いました。

議会からの **お知らせ****新型コロナウイルスに関する要望書を提出しました**

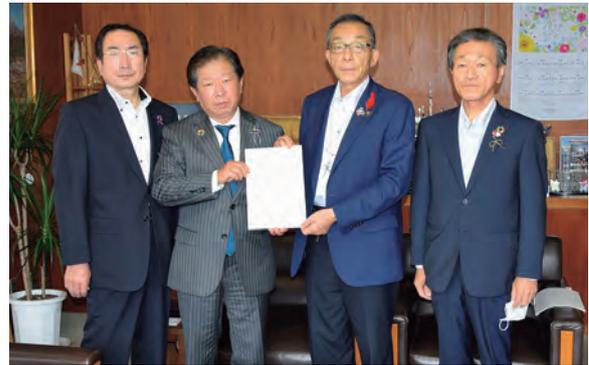
鹿沼市議会災害対策支援本部は、新型コロナウイルスに関する要望を各常任委員会でもとめ、10月15日に要望書として市執行部へ提出しました。

総務常任委員会

1. 行政手続きの簡素化
マイナンバーカードの普及、行政手続きのオンライン化、各種制度のさらなる周知の徹底、申請者への適切な援助など
2. 避難所等における感染防止対策強化
運用体制やマニュアルの整備、パルスオキシメーターの配備など
3. 適切な危機意識の啓発
災害等の日常生活に内在するリスクを一定程度許容する適切な暮らし方の啓発など
4. 行政運営における感染防止対策強化
市役所のICT環境の整備、市役所および民間事業所のリモートワークを促進など

文教民生常任委員会

1. 児童・生徒・保護者への支援拡充
スクールバスの臨時増便、学童保育施設の臨時増設、学校給食費の無料期間の延長、各家庭のオンライン環境整備への助成、児童生徒の体験機会の確保、小学校休校中に学童保育施設を支援した方への慰労金支給など
2. 各施設へのコロナ対策拡充
図書館に書籍消毒機器の設置、学校体育館・保育園・幼稚園にエアコンの整備、介護施設の感染拡大防止、保健衛生必需品の補助、PCR検査の検査日、検査数を拡充し、誰もが受けたいときに受けられる検査体制づくりなど
3. コロナ対策に関わる暮らしへの支援
インフルエンザ予防接種助成を18才まで拡充、コロナ感染関連の専門相談窓口の設置、コロナ差別をなくす人権教育の推進、困窮世帯への就学援助金の拡充、生活費用の貸付制度の創設など

**環境経済常任委員会**

1. コロナに負けない事業所支援
市内中・小規模事業者、個人事業主への助成金等の創設、新事業開拓への支援、継続的な事業資金の低金利融資や給付など
2. Withコロナ時代の新しい働き方支援
テレワーク、リモートワーク推進の中小企業への助成、空き家、空き公共施設などを活用したシェアオフィス、コワーキングスペースの整備など
3. 雇用支援
業績悪化による離職者や、内定取り消しの学生への雇用支援、雇用維持に関する補助金等の創設など
4. 新しい生活様式の普及啓発
新型コロナウイルスの正しい知識や新しい生活様式を普及啓発するなどの経済活動再開の支援、消毒液やマスクなどの支給、または、対策費用の補助金等の創設など

建設水道常任委員会

1. withコロナ時代の未来志向のまちづくり構想推進
国が目指す人工知能(AI)など先端技術を活用したまちづくり「スーパーシティ構想」を実現するための都市基盤の整備促進